



外国出張報告書 585

平成 26 年 4 月 2 日

1. 出張国名 インド

2. 出張月 平成 26 年 3 月

3. 出張目的

- ・インドにおける食糧生産及び農業政策の概況調査 : A
- ・インドにおける食糧生産及び気候変動対策の動向調査 : A

4. 成果の概要

主要研究対象地域のバングラデシュと密接な関係を持つインドにおいて、農業生産の現状と課題に関する情報の収集を行うと共に、農村を訪問して農家へのインタビューを行った。その結果、灌漑の普及により、かつての予測を大きく上回る食料生産が実現しており、食料安全保障上のリスクが縮小する一方で、穀物価格の低迷で農家の生産意欲が減退している現状が明らかとなった。また気温の顕著な上昇が観測されると共に、水資源の枯渇が懸念され始めており、食料安全保障の観点からの将来は、決して明るい状況ではない。今後は成長する都市への人口移動を活用した農業労働生産性と農業所得の向上、貧困地域での作物の多様化によるレジリエンスの向上、穀倉地帯での水資源利用効率化と高温耐性強化の技術開発が必要になると考えられる。